

製品名: リン酸化タウ (Thr205) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87069

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:2000-1:20000 |
| 分子量 | Calculated MW:79 kDa; Observed MW:50-80 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | Phospho-Tau |
| 別名 | TAU; MSTD; PPND; DDPAC; MAPTL; MTBT1; MTBT2; FTDP-17; PPP1R103 |
| 遺伝子 ID | 4137 |
| SwissProt ID | P10636 |
| 免疫原 | ヒトタウの Thr205 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド |

背景

この遺伝子は微小管関連タンパク質タウ (MAPT) をコードしており、その転写産物は複雑かつ制御された選択的スプライシングを受

け、複数の mRNA 種を生成します。MAPT 転写産物は、神経細胞の成熟段階とニューロンの種類に応じて、神経系において異なる発現を示します。MAPT 遺伝子の変異は、アルツハイマー病、ピック病、前頭側頭葉認知症、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺など、いくつかの神経変性疾患と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ

リン酸化タウ (Thr205) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析。

